NIE実践報告

1．タイトル：**「朝学」としての取り組み**

2．学校名

大阪府堺市立美原西中学校

3．実践者名（代表者名）

小林祐彦

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

学級活動・ホームルーム活動　　480人

6．単元（本時の学習課題）名

「朝の読書」の時間

7．目標(狙い)

学習リズムを安定させ、「読み・書き・考える」力を養う。

8．評価の視点

よく読み、よく考え、よく書けているか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

毎日、朝の読書の時間を利用。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞記事を読み、「タイトル」をつける。よく読んで、感想を書く。そのために、B5の「朝学」ペーパーを準備。校務分掌の学習指導部・朝学担当が分担。（各紙、まんべんなく利用しています。）
毎朝10分間を使って「朝学」を行うため、全体では160部ほどになります。（行事その他を除く。）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

一日のスタートが落ち着いて、良いリズムで切れるようになった。「次はどんな記事かな？」「今日は朝学ないの？」というように、子ども達が期待してくれるようになった。

12．成果と課題

・「朝学」ペーパーの作成に手間と時間がかかり、忙しいときには、校長に助けてもらった。
・感想のチェックを担任がするため、常に担任に負担がかかった。
・子ども達が自分でも家で新聞を読んで、記事を探してくれるようになった。
・全国学力テストでは、短い文章を読みとり、内容を理解して答える問題に対して、正答率が高かった。